

第9回 多摩市自治推進委員会 要点記録

- 1 日時：平成29年11月6日（月）午後6時から午後8時
- 2 場所：多摩市役所3階 特別会議室
- 3 出席委員：和田委員長、西川副委員長、島野委員、高澤委員、小城委員、富田委員
- 4 議事：市民・団体アンケート結果の報告と今後について

1 開会

委員長 第9回自治推進委員会を開催する。

2 報告

委員長 本日の配布資料及び、アンケートの結果について、事務局より説明及び報告をお願いしたい。

資料1、2、参考資料1及び2に基づき、事務局から内容について説明を行った。

何かご質問等はあるか。

委員 今回の地域活動に関する市民参画アンケート（以下、「市民アンケート」という。）は無作為抽出で行ったとのことだが、性別、年代、地域はすべて均等に抽出しているのか。

企画課 性別、年代、地域のすべての項目が均等になるように抽出している。

委員長 今回の市民アンケートの回収率は、23.5%であるが、行政調査として、この回収率は高い方か。

企画課 世論調査の回収率は50%ほどであるので、それと比較すると低い。調査内容によって市民の関心も異なるためあまり比較できない。

委員 送付数や対象者が異なるので比較はできないが、民間企業等が行うアンケートと比較すると行政実施のアンケート等は回収率が良いと思う。

今回実施の市民アンケートの間1「自治会・町会や市民活動団体のメンバーとして参加している、又は参加したことがあるか」という問いでは、アンケート回答数357件に対し、市民参画に参加経験のあると答えた人約30%の119票で、非常に少ない。

少ない票数については、回答の拾い方に気を付けないと、導かれる答えも変わってきてしまう。

また、「市民参画経験のない人」への質問の間5-1「参加しない理由」について「知らなかった」や「関心がない」の2項目で約71%を占めており、これが市民の本音なのだと思う。

副委員長 自治会・町会及び市民活動団体へのアンケート（以下、「団体アンケート」という。）の自由回答欄は自治会・町会とNPO法人等の回答を分けていない。地縁団体と知縁団体では成り立ちや体制が違うため、分けた方がよい。

問3「会員数を増やしたいか」とその回答理由、問4「会員数を増やすための工夫」、問7「工夫している発信方法」等は、地縁団体と知縁団体とで回答を分けた方がそれぞれの課題等が読み取れて、今期のテーマ「地域活動に対する気づきとき

っかけの仕掛け作り」につなげるために必要なことが分かってくると思う。

企画課 本日提示した集計結果については、本日時点で集計できた速報値になるので、改めて集計して提示したい。

委員 団体アンケートの問6「活動等に関する情報の発信方法」については、自由記述で「回覧板での情報発信」という回答が意外と多いと感じた。おそらく自治会・町会が多く回答したのだと思うが、紙媒体で回覧という方法が伝わりやすいのかもしれない。

委員 市民アンケートの、問3-3「自治会・町会に参加して良かった点、悪かった点」の良かった点として、「顔見知りができた」との回答が多く意外と感じた。本委員会の中では、若い人は「入りにくいイメージ」が多いのではないかと議論していたが、「入りにくい」との回答は少数であり、意外と感じた。

副委員長 参加したことがない人への質問で、問5-4「どのような受け入れ体制や活動体制を望むか」という項目では、「自由性・任意性」や「家族で参加」等をあげているが、これらの回答が「参加しない」理由につながっているのかが分かると思う。

委員 人口変動がある地区や入居の入替えが多い地区、そして高齢者が多い地区等によって回収率や、回答内容に差が出ると思う。出入りが多い地区の方が、周りとの関係を求める気持ちが高いのではないかと思うので、本アンケートの回収率も高いのではないかと思う。

委員長 地区別の集計について、事務局ではどのように感じているか。

企画課 回収率の良かった「関戸・一ノ宮」や「連光寺・聖ヶ丘」は既存地区であり、自治会・町会等の地縁の基盤が比較的しっかりしているところであると思う。一方で、「諏訪・馬引沢」や「貝取・豊ヶ丘」はニュータウン地区であるが、これらの地区も回収率が良いため、地区の差はあっても、既存とニュータウンには違いは無いように思う。またニュータウン地区においても地区によって開発時期が違うが、それによる回収率への影響についてはわからない。また、どの地区が若い方の入居の入替えが多いかについても、現在把握していない。

副委員長 団体アンケートについては、自治会・町会とNPO法人等で回答を分けると、市民アンケートとリンクができて、参加への提案が見つかるかもしれない。

3 議事

委員長 次第2で報告いただいたアンケートの結果を踏まえ、提言に向けて、皆で考えていきたいと思う。

事務局より説明をお願いしたい

事務局から今後のスケジュール及び内容について説明を行った。

何か、ご意見等はあるか。

前回の委員会の中で、アンケート実施の他に、世代別に何名かの市民の方をお願いして聞き取り調査を行い、生の声を聞くという意見があった。また、団体についてもアンケート結果からいくつかの団体をお願いして、成功例や失敗例等について聞き取り調査を行うという意見があった。今回実施したアンケート結果を補うため

にも聞き取り調査をした方が良いだろうか。

委員 最終的には委員会として、地域活動に対する気づきやきっかけについて提言をする必要があるが、提言までの時間に限りがある。両者に聞き取りが出来れば良いと思うが、日程の調整等もあるので、現実的に難しいのではないか。

市民アンケートの回収率は23.5%と低いが、これを重要な意見として受け止め、団体アンケート結果から、自治会・町会及びNPO法人等をそれぞれ数団体抽出して聞き取り調査を行ったらどうか。

委員長 団体アンケートの結果から、面白い工夫や取組みを行っている団体に聞いてみるのが良いか。

委員 団体が参加者募集のために実際に行っていることや行おうとしていることが、市民が思っていることや望んでいることと一致していないのかもしれない。

その考えや感じ方のギャップをうまく団体に伝えることが出来れば、市民の関心等が変わってくるのでないかと思う。

副委員長 聞き取り調査を行う団体は、うまく運営できている団体のみで良いか。課題のある団体にも聞いた方が、原因がよくわかると思うのだが。

また、自治会・町会とNPO法人等の団体では、成功例や失敗例、課題等の内容が違うと思う。また、聞き取り調査と言っても、どんなことを聞くのか。質問する内容も重要である。

企画課 活発な活動をしている団体として、市内の認定NPO法人に、工夫している点等を聞いてみるのはどうか。

委員 現在、認定NPO法人多摩子ども劇場では、外部に依頼をして、なぜ若者が増えないのか等を調査中である。この結果から何か分かれば良いのだが。

市民活動団体といっても、活動ジャンルによっても違いがあると思う。活動が多いところに聞くのが良いのか。

委員長 外部に調査を依頼するのは面白いと思う。内部で思っていると外部から見るとは、違う結果が出てくることがある。結果が分かれば良いと思う。

聞き取りする団体としては、取組みを行っている団体が良い。

委員 団体が実際行っている工夫として、SNSの活用等があるが、例えば、Facebookをどのように活用しているのか、具体的な取組み内容を聞くのも面白いと思う。団体も市民が参加しやすくするために気楽さや敷居の低さを考えているのだと思う。

どんな工夫しているのか聞くと、何か、気づきやきっかけのヒントが出てくるかもしれない。

市民への聞き取り調査については、アンケートの再調査のようになってしまうことと、数人への聞き取りの結果を、提言への代表的な結果としてとらえることは良くないと思う。

委員 市民アンケートの間9「どんな活動をしてみたいか」で回答が多かった、子育てや高齢者に関して活動を行っている団体に聞いてみるのはどうか。

関心が高い分野の活動を行っている団体に聞いてみると良いと思う。

委員長 それでは、団体へのみに聞き取り調査を行いたいと思う。

子育てや高齢に関する活動をしている団体、参加増加等取組みについて成功して

いる団体、取組み等について工夫している団体をリストアップし、お話を伺ってみたいと思うがどうか。

副委員長

団体アンケートの間4「若い方等の加入にむけて工夫していること」で、例えば「各種お祝い制度」と回答している団体がある。どのように行っているのか、また加入の増加や地域活動の活性化等の成果はあったのか、具体的に聞いてみたいと思う。

面白い工夫を実際に行った団体について、工夫した内容をピンポイントで聞くのも良いと思う。

例えば、成功していたり、活動が活発である団体を1団体選んで、聞き取り調査を行ったとしても、その成功例等が、すべての団体にとって良い例になるとは限らない。団体アンケートで1つでも面白いことをしていたり、工夫している団体があれば、その内容について具体的に聞いてみる。工夫している事を数団体に聞いてみると、様々な取組み例が集められ、課題を抱えている団体に対し、それぞれ、その団体に合った提案ができるかもしれない。

委員長

団体アンケートについて、取組み工夫や募集活動内容、情報発信方法等について、自治会・町会とNPO法人等の回答を分け、回答から読み取ることが出来れば、現状が分かり、さらに面白い事例について聞いてみると、課題と解決をつなげることができ良いと思う。

委員

これまでの実績を聞くと良いと思う。そこから積極的に活動している団体とそうでない団との差が見えてくる。

副委員長

今回の提言については、団体への気づきに絞った方が良いかもしれない。また、団体アンケートの会員が増えた理由と工夫したことがリンクされているのかについて、結果を追えたら良いと思う。

委員長

団体の聞き取り調査について、地縁である自治会・町会と知縁であるNPO法人等それぞれに聞いた方が良いと思う。NPO法人等については聞き取り調査を受けていただける団体があると思うが、いくつかの自治会・町会に聞き取り調査をお願いすることは可能か。

企画課

自治会・町会1団体に聞くことは難しいと思う。一般的に自治会・町会をまとめている自治連合会の会長や副会長にお願いすることが多い。

副委員長

会長や副会長に聞き取りを行っても、各団体の具体的な事例については聞くことが難しいと思う。

1団体を抽出してお願いするのは確かに難しいかもしれない。しかし、面白い事例についてピンポイントで聞くことは可能だと思う。

委員

団体が行っている工夫が、活動の活性化に成果としてつながっているのかが分かると良いと思う。会員増加をしたいがなかなか増やせず、助言等を求めている団体に対して、提案しやすくなると思う。

副委員長

団体へのヒアリングを行うのではなくて、他団体のアイディアを調べるのも良いかもしれない。

近年、NPO法人等が事業化しており、市民参画の活動要素が少なくなっている。そういう全体的な課題や事例等を外部等から収集して、実施したアンケート結果と

比較したり、取り入れたりできると良いと思う。

委員 長

アンケートから見えてくる多摩市の良い点、悪い点含めた現状と他自治体や団体の事例を比較して提言に盛り込むのも良いかもしれない。

副委員長

アンケート等を行って結果は公表しても、その結果から団体へ提案を行う等、フィードバックすることはなかなか無いように思う。

団体に対してフィードバックができると良いと思う。提言前にアンケートに協力いただいた団体にフィードバックを行い、それから意見交換ができると良いと思う。その意見も提言に入れ込んで、市長に報告すると面白いと思う。

委員 長

提言に向けて、どんな内容にするのか今後議論していきたい。

3 その他

企画 課

次回、第10回自治推進委員会については、12月25日（月）午後6時から行う。場所については、決定し次第改めて連絡する。また、アンケート結果については、本日も意見をいただいた部分について改めて集計し、再度提示したい。

4 閉会